

空き家バンク制度

空き家バンクで住まい探しのはじめ方

大田市では定住希望者へ空き家情報を提供し、定住促進を図っています。
空き家紹介は「おおだ定住支援センター」(大田市役所定住推進課内)で行っています。
空き家情報は「大田市定住PRサイト「どがどが」」に掲載しています。

- STEP 1 定住サイト「どがどが」で気になる空き家を探す
- STEP 2 「おおだ定住支援センター」へ問い合わせ
- STEP 3 実際に空き家を見学
- STEP 4 気に入ったら申込&契約

※大田宅建センターの仲介(有料)による契約

↓大田市内に活用できる空き家をお持ちの方からのご相談もお待ちしています!

【お問い合わせ先】おおだ定住支援センター(大田市役所定住推進課内) ☎0854-83-8029

大田市定住PRサイト **どがどが**



空き家活用促進事業

UIターンで大田市に定住される方、または空き家の所有者等が「大田市空き家バンク制度」に登録のある空き家を改修する場合の改修費と残存家財の処分費の一部を助成します!

【補助対象者】

- 定住の意思を持って居住するUIターン者(既に大田市に転入している場合は、補助金の交付申請時に転入してから180日を経過していない者)
- 空き家の所有者、地域自主組織、自治会等、又はNPO法人(上記1に該当する者を入居させる場合に限り)

◆着工前に事前に申請が必要です◆

区分	補助対象経費	補助率	適用
改修	空き家の改修に要する経費 (ただし50万円以上であること)	対象経費の 2分の1以内	上限100万円
残存家財の処分	空き家の残存家財の処分に要する経費 (ただし5万円以上であること)		上限15万円

※補助対象経費は、消費税及び他の補助制度による補助金等の額を除いた額です。
※空き家所有者が売買希望の場合は家財の処分のみ対象です。
※改修及び残存家財の処分を代行業者に委託する場合は、大田市内に事務所を有する法人または個人事業者が行うものであること。
この他にも別途要件があります。また予算の範囲内での助成となり、予算がなくなり次第、終了となります。
詳細は下記までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】大田市役所定住推進課 ☎0854-83-8029

鉄道模型の楽しさを知ってもらいたい

「子どもたちの遊びが昔と変わってきている。TVゲームやタブレットなどで遊ぶことが増え、鉄道模型に触れる機会がない子どももたくさんいる」と話す和田さん。たくさんの人に、鉄道模型の楽しさを知ってもらいたいと考えています。子どもたちに鉄道模型に触れてもらう機会をつくるため、地域の文化祭などのイベントで、鉄道模型を走らせてもらえないかというお願いも快く引き受けています。

鉄道模型のイベントでは、見るだけでなく、できないことも多い中、和田さんは「見ただけでは記憶に残らない。実際に触れて、運転してもらおうことで楽しい思い出に変わる」と話します。

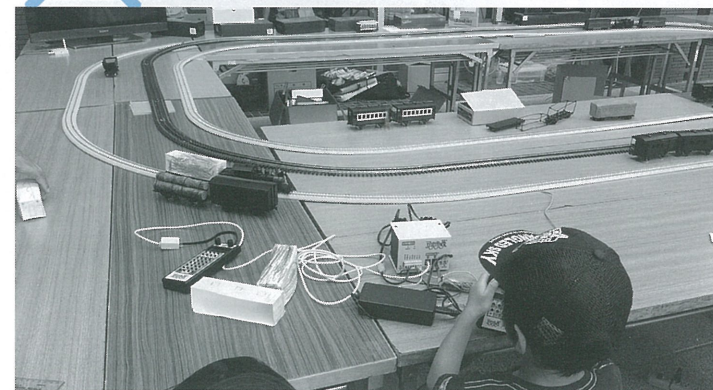
そんな和田さんの活動は新聞でも取り上げられ、大田市内にとどまらず、近隣の町からもイベント参加の依頼が入ります。

8月26日に行われた「こうつホビー祭り」では、実家に眠っていた60年前の古い模型のモーターを取り替えるなどの修理をして参加。当日はたくさんの子どもの手元が運転手気分分て模型を動かしていました。鉄道模型にはじめて触れる子どもも多く、興味津々で楽しそうに遊ぶ子どもたちに、和田さんも目を細めていました。



蔵を改修した作業場にて

東京から1ターン 鉄道模型職人 和田亮二さん



楽しそうに運転する子どもたちと操作を教える和田さん

ゆったりとした空間でスローライフを満喫したい

和田亮二さんは平成28年8月に東京よりIターンしました。

東京では、鉄道模型の制作にかかわる仕事を20年以上しており、業界では有名な鉄道模型職人。

和田さんが作成した模型が雑誌の表紙を飾ることもありました。

東京ではマンションに住んでおり、制作活動には手狭なスペースで作業をしていました。「ゆったりとした空間で活動し、スローライフを満喫したい」と思い、和田さんは移住を考えはじめました。

全国各地の空き家情報を収集するうちに、大田市定住PRサイト「どがどが」で見つけた家が、大田市大代町の蔵付の物件でした。当初より蔵付の物件を探していた和田さんは、この空き家に心を惹かれ、実際に大田市を訪れました。その後、東京と大田市を行き来しながら、移住の準備を進めていきました。

そしてついに心惹かれた蔵付の空き家を購入。トイレや床などを改修して入居し、お気に入りの蔵は作業場として生まれ変わりました。

